

平成30年7月検針分のガス料金について

平成30年5月30日
岡山ガス株式会社

岡山ガス株式会社は、原料費調整に用いる貿易統計値が公表されたことに伴い、平成30年7月検針分の単位料金を平成30年6月検針分に比べ1m³につき0.27円（税込）上方に調整させていただきます。

今回の調整は、平成30年2月～4月の平均原料価格が前期（平成30年1月～3月）の平均原料価格を上回ったことによるものです。

これにより、1か月に22m³のガスをお使いになる標準家庭で、平成30年6月検針分に比べ、ガス料金が6円(税込)の値上がりとなります。

平成30年7月検針分に適用する単位料金につきましては、当社の本社および営業所等の店頭での掲示や、検針時にお客さまにお届けいたしております「ガスご使用量のお知らせ（検針票）」等で、あらかじめお知らせいたします。

平成30年7月検針分のガス料金

◆一般ガス供給約款料金表

(税込)

料金表	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	単位料金 (1m ³ あたり)		
			平成30年 6月検針分(a)	平成30年 7月検針分(b)	差額 (b)-(a)
料金表A	0m ³ から 10m ³ まで	910.44円	242.70円	242.97円	0.27円
料金表B	10m ³ をこえ 25m ³ まで	1,329.48円	200.80円	201.07円	0.27円
料金表C	25m ³ をこえ 100m ³ まで	1,610.28円	189.56円	189.83円	0.27円
料金表D	100m ³ をこえる場合	2,927.88円	176.39円	176.66円	0.27円

※各月のご使用量に応じて、A・B・C・Dの各料金表が自動的に適用されます。

◆標準家庭における影響

(税込)

1か月のご使用量	平成30年 6月適用料金(a)	平成30年 7月適用料金(b)	増減額 (b)-(a)	増減率
22m ³	5,747円/月	5,753円/月	6円/月	0.10%

※標準家庭1か月のご使用量22m³は過去5年間（平成23年～27年）のご家庭1件あたり平均使用量です。

原料価格の変動

◆平均原料価格

	基準平均原料価格 (平成25年1月～3月)	平成30年6月検針分 (平成30年1月～3月)	平成30年7月検針分 (平成30年2月～4月)
LNG平均輸入価格 (貿易統計値)	77,800円/トン	51,330円/トン	52,060円/トン
LPG平均輸入価格 (貿易統計値)	89,730円/トン	63,160円/トン	58,870円/トン
平均原料価格	79,220円/トン	52,600円/トン	52,920円/トン

※平均原料価格 = LNG平均輸入価格×0.9235 + LPG平均輸入価格×0.0822（10円未満四捨五入）

◆原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 52,920\text{円/トン} - 79,220\text{円/トン} \\ &\Rightarrow \text{▲26,300円/トン} \quad (\text{100円未満切り捨て}) \end{aligned}$$

◆単位料金調整額の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 0.083\text{円/m}^3 \times \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 0.083\text{円/m}^3 \times \text{▲26,300円} / 100\text{円} \times 1.08 \\ &\Rightarrow \text{▲23.58円/m}^3 \quad (\text{小数点第3位切り上げ}) \end{aligned}$$

(税込)

	平成30年 6月検針分(a)	平成30年 7月検針分(b)	差額 (b)-(a)
単位料金調整額	▲23.85円/m ³	▲23.58円/m ³	0.27円/m ³

【参考】

原料費調整の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月単位料金を調整します。
- 基準平均原料価格（79,220円/トン）と平均原料価格（5～3か月前のLNG、LPGの輸入価格により算出）との差額に基づいて調整額を算出し、単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、LPGともに貿易統計実績によります。